

朝鮮史研究会 第61回大会

東アジア史上の「壬辰戦争」

—倭城と降倭をめぐる—

2024年10月19日（土）・20日（日） 学習院大学目白キャンパス南3号館201教室

参加費：一般 1,500円 学生 1,000円

第一日 10月19日 13:30～16:00	第二日 10月20日 10:00～17:00
<p>【講演】 馬淵貞利氏「近代東アジア史における甲午農民戦争」</p> <p>木宮正史氏「激動する国際政治の中での韓国・朝鮮半島の軌跡と展望—冷戦・分断体制下の体制競争からポスト冷戦下におけるポスト体制競争の新たな展開へ—」</p> <p>会員総会 16:00～18:00 懇親会 18:30～ 一般5,000円, 学生4,000円</p>	<p>【報告】 川西裕也氏「壬辰戦争における日本軍の地域支配と倭城—講和交渉期の加藤清正と西生浦倭城を中心に—」</p> <p>谷徹也氏「蔚山城の戦いの経緯とその影響」</p> <p>長森美信氏「金景瑞伝—ある朝鮮武官の壬辰戦争と降倭—」</p> <p>コメント：大野晃嗣氏・鈴木開氏 総合討論</p>

[大会申込みフォーム](#)にアクセスし申し込みをお願いいたします。(10月17日まで)

上の青い文字の部分をクリックしていただくとそのまま接続できます。右のQRコードもご利用下さい。

お問い合わせ：chosenshi2024@gmail.com 主催：朝鮮史研究会

関東部会 〒186-8601 東京都国立市中2-1 一橋大学大学院社会学研究科 加藤圭木研究室気付

関西部会 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 同志社大学グローバルスタディーズ研究科 太田修研究室気付

